

令和7年度 第3回堺市東区政策会議 議事要旨

開催日時 令和7年9月4日(木) 午前10時10分から午前11時35分まで
開催場所 東区役所4階 大会議室
出席構成員 池崎守、梅井良雄、金牧かおり、河合涼子、川上浩、小谷勝則、小西貢、高落俊次、
高木悠里、西川孝弘、福田崇子、福永浩子、正木幸彦、松島亮次、森本昌子、
山本公三 (以上16名)(50音順)
参考人 池田一紗氏
(堺市東区政策会議開催要綱第7条に基づく関係者として招致)
事務局職員 東区役所 立花区長、近藤副区長、水谷東保健福祉総合センター所長、
新田企画総務課長、船津自治推進課長
企画総務課 友兼課長補佐、井上企画係長、大野主査、酒井
傍聴 傍聴人なし

次第 1 開会
2 議題 (1) (仮称)次期東区ビジョンの策定について
(2) その他
3 閉会
配付資料 資料1 令和7年度第3回堺市東区政策会議 座席表
資料2 (仮称)次期東区ビジョンの策定について
資料3 (仮称)次期東区ビジョン 素案
資料4 ありがとうマークのPRについて

【会議内容概要】

1 開会

事務局の進行により、配付資料の確認後、本会議が公開であること、傍聴者が0名であること、構成員3名及び前回出席の参考人である佐久間氏の欠席を報告。また参考人として池田一紗氏が参加することを報告。

なお、2名の構成員が到着遅れるとの連絡から会議開始時刻を変更することで全員了承した。

2 議題

(1) (仮称)次期東区ビジョンの策定について

事務局から資料2及び資料3を基に次期ビジョンの構成(素案)について説明した。

【各発言要旨】

- (座) 皆さんには資料2及び資料3についてじっくり時間を取って確認いただき、ご質問、ご意見等を事務局に寄せていただきたい。完成したビジョンの冊子はどの範囲に配付するのか。

○（事）配付は検討していない。区広報紙の活用や駅、公共施設などでの発信を考えている。

○（座）地域での活動実績なども考慮すると各家庭への冊子配付を検討していただきたい。

今まで学校給食の実現や防犯灯の公設化、また都市計画施設など地域住民の要望は、区役所を通して市が実現に向けて対応したと理解している。これからも地域の要望については東区、堺市としてしっかり受け止めてもらいたい。次期ビジョンもその位置づけで進めていきたい。

○ 校区では「校区だより」を自治会員だけに配っているが本来は全ての家庭に提供したい。ビジョンはぜひ全世帯に知っていただきたい。ビジョンのタイトルには、こどももお年寄りもみんなが楽しく地域みんなが一体となって東区を構成しているというフレーズがほしい。

○ 冊子の配付に関しては概要版を作成して配付してはどうか。

○ 東区の安全安心・教育文化の中心には人々があつての東区ということからすると、施策については充実している。一方でハード整備について、区民の活躍成果だけでなく区役所の橋渡しについてもビジョンに書けるところは記載してもよいのではないか。

○ 現実的には難しいが東区に郵便局や警察署を設置してほしい。

○ 要望のあるところに施策がある。先のアンケート結果を踏まえ将来像を示せばいい。

○ 中学校の給食制度が始まり負担が軽減されてよかったと近隣の保護者から聞いている。また体育館の冷房設置も期待されている。自治会報は高齢者も多いのでデジタル化も進めにくい。

○ 住民の意見があつて実現できたという事実を知らない方が多い。ビジョンの冊子が手元があればどこに相談できるのか、など広まると思う。

○ ビジョンの概要版を地域の皆さんに知っていただくのは良いこと。社会制度の充実によって相互扶助の必要性が薄まり、自治会の活動に関心の薄い方もいることはやむを得ない。ただ、つながりのないところに社会はないと考えているので、少しでも交流できる機会は必要。

○ ビジョンの冊子の配付については、全戸配付を必須目標として取り組んでほしい。読んでいただくために興味を持っていただけるインパクトのある表現で作成していただきたい。

(2) その他

事務局から、資料4を基にありがとうマークのPRに係る令和7年度の取組について提案した。次にテーマ別会議メンバー公募の応募状況について報告した。

【各発言要旨】

○（座）住民の中でまずは感謝することから始めようという「ありがとう」を広げる運動があり、その時にマークを公募したもの。事務局から提案があつた事業を進めることでいかがか。

【全員、了承】

○（座）次のテーマ別会議のメンバーについて、文活は前期に続いて尾張氏がメンバーに加わる。歴活の応募がなかったということで、川上氏にどなたか推薦いただきたいがいかがか。

【全員、了承】

3 閉会